

ようこそ 南アルプス林道へ



南アルプスジオパーク・ユネスコエコパーク

南北100kmの間に3000メートル級の13座がそびえる南アルプス。遠い昔に海でくらししていたアンモナイトの化石や海でできた石灰岩、大地が大きく動いたあとを観察できる中央構造線の露頭などが見られ、大地の動きや南アルプスの成り立ちなどを知ることができます。このような大地の公園としての価値が認められ、日本ジオパークに認定されています。

また、ライチョウやヤマトイワナ、シナノコザクラなど、貴重な特有の動植物が生息しています。その多様な生き物や自然環境を守り、暮らしの中に役立ててきたことが世界的に認められ、ユネスコエコパークに登録されています。



南アルプス林道バスのドライバーが楽しく詳しくガイドしてくれます。乗るたびに楽しめます。



黒光りして雲の隙の模様に見える「蛇紋岩」。かほに浸わった温泉(おんじく)石とも言われます。

旧磨石(トキ)周辺は、たいへん硬い磨石で、江戸時代には、石臼の石に、おんじく(おんじく)石ととも、言われています。



(仙丈岳) 林道バス営業所

おんじく石に行こう!

至戸台口